



▲ ビニールシートの上に土のうを積んだ施設（大野町）



えとうまさひろ
衛藤正宏



**老朽化施設を
どうする**

質 市内には、390におよぶ公共施設がある。老朽化した公共施設の維持管理は。

答 企画部長
利用者がいない施設は廃止の方向です。

必要なものは、他の施設の空きスペースに移転し、困難な場合は、建て替えや改修を検討します。

質 補助金や指定管理料の削減は。

企画部長

集中改革プランにより、歳出削減を図るには、公共施設、補助金、委託料および指定管理料などの抜本的な見直しは不可欠です。

今後は、行政改革推進を図り、市民の理解を得ながら、経費全般の削減に努めていきます。

子育て支援の充実を

質 誰もが安心して子どもを生み、育てることができるための対策は。

保健福祉部長

答 「生後4ヶ月までの全乳幼児訪問」などを行っています。

また、保護者が、福祉・保健事業・施策を容易に理解できるように「子育てマップ」を作成し、情報提供を推進しています。

わたなべかずふみ
渡邊一文



守ろう "農地"

質 過疎・高齢化が、遊休・荒廃農地の増加に拍車をかけている。

棚田や大型機械が行けない水田などの対策は。

答 産業経済部次長

平成18年農業資源調査で、遊休農地（耕作放棄地）の面積は、1123ヘクタールとなっています。今年6月に農振農用地区域内の遊休農地解消計画を策定しました。

また、市担い手育成総合支援協議会で「遊休農地実態調査」を実施し、「担い手アクションサポート事業」などで、遊休農地の解消に向けて努力しているところ

質 河川の災害対策

答 建設部長

市の管理する準用河川は、50河川あり、延長が約63キロメートルです。被災した箇所は復旧事業を実施しています。

なお、一級河川は県の管理で、市内に63河川あり、延長が約407キロメートルとなっています。被害状況を把握し、防災対策を県に強く要望していきたい。



▲ 台風5号の爪あと（緒方町）